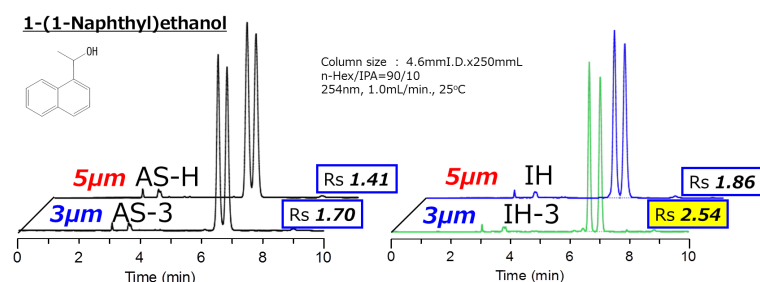


◆Uシリーズに5人目の仲間！CHIRALPAK® ID-Uの登場

巷で話題の「キラルカラム界のサブちゃん」こと、「CHIRALPAK Uシリーズ」に新しい仲間が加わります。その名もCHIRALPAK® ID-U！既に可愛がっていただいておりますIA-U、IB-U、IC-U、IG-Uに続く5品種目となります。その性能は、一足早く第138回日本薬学会併催の新技术・新製品セミナーにてご紹介させていただきましたが、単独の性能としては勿論、従来の5 μ m、3 μ mから大きく向上しております。加えて5品種目となることで、これまでできなかった超高速カラムスクリーニングが可能になりました。5本のキラルカラムが奏でる5重奏(クインテット)をこの機会に是非ご堪能ください！Uシリーズは今後も新しい仲間を増やし、皆様にご愛用いただけるよう鋭意開発中です！（福田）



◆背番号8番"CHIRALPAK® IH-3"颯爽とデビュー！



8番目の*i*CHIRALシリーズ、「CHIRALPAK® IH」(Particle size : 5 μ m) の3 μ mバージョン「CHIRALPAK® IH-3」が2018年3月より販売開始されました。IHシリーズは、コーティング型キラルカラム「AS」と同じキラルセクター(アミローストリス[(S)- α -メチルベンジルカルバメート])であり、ASタイプのユニークな分離特性を維持したまま、溶剤耐性が付与されたキラルカラムです。中でもラクタムやラクトン類に減法強く、これまでの*i*CHIRALシリーズで分離困難な化合物をIH/IH-3は分離

します。さらに優れた溶剤耐性を有しており、コーティング型キラルカラムでは使用できない溶剤を移動相に用いることでASタイプよりも優れた分離が得られます。AS-3をご使用のお客様は是非この機会にIH-3を是非ご使用ください。また既にIHをお使いの方で、十分な分離が得られない、分析時間をもっと短くしたいなど、お困りのことがありましたらCHIRALPAK® IH-3をお試しください。（吉田）

◆シンポジウム「モレキュラー・キラルティ2018」今年も千葉で開催されます

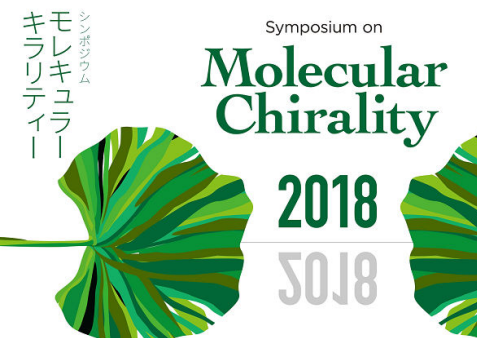
キラル化合物の薬理・毒性・体内動態、キラル分析、キラル検出、不斉の起源、不斉合成、機能性キラル材料、キラルティの発現・理論そして光学分割と、日本のお家芸とも言えるキラル化学を題材に、活発な議論が行われるシンポジウム「モレキュラー・キラルティ(分子不斉)」。

2018年は、5月11日(金)~12日(土)、千葉大学・西千葉キャンパスにて開催されます。

千葉大学 坂本 昌巳教授、新井 孝義教授が実行委員を務められ、下記の先生方が招待講演の演者として予定されています。(敬称略)

Gérard Coquerel(University De Rouen)、Jayaraman Sivaguru(Bowling Green State University)、尾松 孝茂(千葉大学)、杉野目 道紀(京都大学)、友岡 克彦(九州大学)、長澤 和夫(東京農工大学)、林 雄二郎(東北大学)、藤木 道也(奈良先端科学技術大学院大学)

当社も毎年ブース展示を行っている学会です。是非、東京から約1時間のキャンパスへ足をお運び下さい。(大西あ)



【編集後記】寒かった日々がようやく終わり、舞い散る桜の花びらに切なさを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？例年に比べ、桜の開花が早かったように思います。筆者はヒノキ由来であろう花粉症と日々戦っております(常にマスク着用、目薬持参、飲み薬も服用中)。少し調べてみると、みかんの皮とヨーグルトの組み合わせが花粉症の症状緩和に効果があるらしいです。この時期にみかんの入手は難しくないかな？と思いつつ、くしゃみを我慢しながらヨーグルトを口にしている今日この頃でした。(宮本し)

発行元：株式会社ダイセル CPIカンパニー

〔東京〕 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル
TEL : 03-6711-8222 FAX : 03-6711-8228

〔大阪〕 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB
TEL : 06-7639-7221 FAX : 06-7639-7228

ヘルプデスク フリーダイヤル : 0120-780-104

HP : <https://www.daicelchiral.com/>